

ガバペンシロップ5%

【この薬は？】

販売名	ガバペンシロップ5% GABAPEN Syrup 5%
一般名	ガバペンチン Gabapentin
含有量 (1 mL 中)	50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗てんかん剤です。
- ・この薬は、脳内の神経の過剰な興奮をせずめて、てんかん発作を抑えます。
- ・次の目的で処方されます。

他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する抗てんかん薬との併用療法

- ・この薬は、他の抗てんかん薬と併用されます。
- ・この薬は、体調が良くなったと自己判断し、服用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。指示通りに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

過去にガバペンシロップに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎臓に障害のある人
- ・血液透析を受けている人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
- ・1日3回に分けて飲む場合は、前に飲んだ時間との間隔が12時間を超えないようにしてください。

[成人の場合]

通常、成人及び13歳以上の小児の飲む量は次のとおりです。

	1日目	2日目	3日目以降 (維持量)
1日量	600mg	1200mg	1200～1800mg
飲む回数	1日3回に分けて飲みます		

- ・最大量は1日2400mgです。
- ・腎臓に障害のある人は、飲む量と飲む回数が調節されます。

[小児の場合]

通常、3歳～12歳の幼児及び小児の飲む量は次のとおりです。

	1日目	2日目	3日目以降 (維持量)	
1日量	体重1kgあたり 10mg	体重1kgあたり 20mg	3～4歳	5～12歳
			体重1kgあたり 40mg	体重1kgあたり 25～35mg
飲む回数	1日3回に分けて飲みます			

- ・飲む量は体重によって異なります。
- ・最大量は体重1kgあたり1日50mgですが、1日2400mgは超えません。

●どのように飲むか？

決められた1回量を、軽量カップなどではかり飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分をできるだけ早く飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

ふらつき、ものがだぶって見える、発音が不明瞭になる、ぼんやりする、目が覚めない、下痢などがあらわれることがあります。このような症状があらわれたらただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・病気が悪化することがあるので、医師に相談しないでこの薬を減量したり、やめたりしないで下さい。
- ・体重が増加することがあります。体重が増加し始めた場合には、医師に相談し食事内容を改善したり、運動をするなどしてください。特に飲んでいる量を増やした場合や長期間飲んでいる場合に、体重が増加することが多いので、この薬を使用中は定期的に体重測定が行われます。
- ・傾眠（眠気でぼんやりする）、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・視力の低下、見えにくい、眼のかすみ、ものがだぶって見えるなどがあらわれることがあるので、飲む前に眼科的検査が行われることがあります。飲み始めて異常を感じた場合には医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んだことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

副作用	主な自覚症状
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、頭痛、意識の低下、眼がはれぼったい、息苦しい、尿量が減る
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん(スティーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	からだがだるい、高熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	さむけ、ふらつき、汗がたくさん出る、発熱、意識がうすれる、考えがまとまらない、息苦しい、かゆみ、発疹、しびれ、判断力の低下
肝炎 かんえん	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、皮膚が黄色くなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、皮膚が黄色くなる、かゆみ、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、赤褐色尿

副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、からだのむくみ、ふらつき、高熱、発熱、疲れやすい、汗がたくさん出る、さむけ、脱力感
頭部	頭痛、意識の低下、考えがまとまらない、意識がうすれる
顔面	ほてり
眼	まぶたや眼の充血、眼がはれぼったい、結膜のただれ、白目が黄色くなる、眼と口唇のまわりのはれ
口や喉	ひどい口内炎、唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声
胸部	息苦しい、吐き気、息切れ、動悸
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、発疹、かゆみ、じんましん
筋肉	筋肉の痛み
尿	尿量が減る、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、赤褐色尿
その他	陰部の痛み、判断力の低下、しびれ

【この薬の形は？】

形状	
外観・におい	無色～微黄色澄明の液／芳香を有する

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ガバペンチン
添加物	濃グリセリン、キシリトール、香料

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて2～8℃で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・飲まずに手元に残してしまった場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：富士製薬工業株式会社 (<http://www.fujipharma.jp/>)

学術情報課

電話番号：076-478-0032

受付時間：9時～17時

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)